

科目名	立体基礎		科目コード	1002
開講学科	美術学科	単位数	6 (計)	形態
教員名	柳楽 隆一			
授業の目的及びテーマ：				
20世紀からのデュシャン以降、様々に発明、選択されてきた概念、素材、技法、方法を主題化し、実際に作品化することを通じて、新たな彫刻作品の在り方を探っていく。				
授業概要				
「通信」の場面ではソフトな素材によって、「空間」を創造することを学ぶ。立体構想では「発想」や思考などに重きを置く事をバランスをとって勉強していく。				
授業計画：				
第1回. 立体造形（幾何学的構成） 第2回. 立体造形（有機的構成） 第3回. 抽象の3つの方向 第4回. 立体構想「発想」 第5回. 立体構想「現代表現」 第6回. オブジェー美術とものー 第7回. 映像ー美術と映像(写真・映画・テレビ・マルチメディアなど)ー 第8回. ー美術とことばー 第9回. サウンドー美術と音ー 第10回. パフォーマンスー美術と行為ー 第11回. インスタレーションー美術と場所ー 第12回. 課題制作について 第13回. 作品制作のポイント 第14回. 作品制作のヒント（教科書の学生作品から） 第15回. 課題制作				
テキスト	「立体基礎」 山本哲三、西山市博、藤原勝彦、 横溝秀実 共著 (大阪芸術大学発行)		参考文献：	
評価方法：				
通信授業は提出課題{2件)を以って評価する。				
面接授業は受講態度、授業中提出物などにより総合的に評価する。				